

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 8 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H01652

研究課題名(和文) 南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク

研究課題名(英文) Industrial Development in South Asia and Global Production Networks of the Japanese MNCs

研究代表者

佐藤 隆広 (Sato, Takahiro)

神戸大学・社会システムイノベーションセンター・教授

研究者番号：60320272

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 33,510,000円

研究成果の概要(和文)：(1)「新新貿易理論」(New New Trade Theory)と呼称される国際経済学の新しい理論的枠組みに準拠して、企業レベルデータを利用してインド経済のグローバル化を実証的に分析した。(2)日本型経営の普及を企業単位で計測する「ハイブリッドモデル」(日本多国籍企業研究グループが開発した)に依拠した調査を実施し、インド進出日本企業における日本型経営の適用度合いを計測し、その適当度合いと企業生産性に関する研究を行った。(3)インド企業・産業による国際価値連鎖(GVC)への参入とアップグレードという視点から、インドの様々な分野における産業発展の諸相を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

多国籍企業(MNCs)が主導する国際価値連鎖(GVC)がインド域内に網目を拡大させ、その結果、インドの産業構造が再編され高付加価値工程にアップグレードする可能性を高める。これは、生産性が異なる個別企業単位で見れば、貿易・R&D・FDI・アウトソーシング・外国技術移転などの企業行動に対応する。本研究は、日本企業を含むMNCs主導のGVCによるインドの産業発展の再編をハイブリッドモデルと新新貿易理論をベースにして産業のみならず企業単位も含めて実証的に分析した。中国とのデカップリングが進む世界経済において、本研究は企業や政策担当者に対してインド経済の実態を明らかにするという社会的意義も有する。

研究成果の概要(英文)：(1) In accordance with a new theoretical framework of international economics called the "New New Trade Theory," we conducted an empirical analysis of the globalization of the Indian economy using firm-level data. (2) We conducted a survey based on the "Hybrid Model" (developed by the Japanese Multinational Enterprise Study Group), which measures the diffusion of Japanese-style management at the firm level, to investigate the degree of application of Japanese-style management among Japanese firms in India, and conducted research on the relation between the degree of its appropriateness and firm productivity. (3) The study clarified various aspects of industrial development in various sectors in India from the perspective of entry and upgrading of Indian firms and industries into the global value chains (GVC).

研究分野：現代インド経済論

キーワード：インド経済 グローバル生産ネットワーク 国際価値連鎖(GVC) 日本企業 新新貿易理論 ハイブリッドモデル 産業発展

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

研究開始当初、日本企業のインド進出が目覚しかった。在インド日本国大使館によれば、2008年での進出企業数・拠点数は550社・838拠点であったのが、2016年には1305社・4590拠点到まで増加している。この8年間で、企業数で見ると755社の日系企業が新規にインドに進出し、その拠点数をみると実に3752拠点も増加している。国際協力銀行によれば、インドは、インドネシアや中国を押しつけて2014年から2016年の3年連続で日本企業からは最も有望な事業展開先国としてみなされていた。実際、インドは、2015年には景気後退にある中国を抜いて、主要国では経済成長率が最も高い国になった。当時のIMFの予測によれば、インドの成長率は7%台半ばから後半を推移し、2021年まで一貫して中国のそれを上回っていた。1980年以降、中国とインドの経済成長率の1年以上にわたる逆転現象は天安門事件直後を除くと史上初めてであった。

さらに、南アジアへ進出する日系企業も漸増し、インドの情報通信産業（ICT）や製薬産業のみならず、アパレル製品の輸出が目覚ましいバングラデシュの繊維産業や日系企業が市場を独占しているパキスタンの自動車産業にも注目が集まっていた。これらのことは、世界経済における成長の極が東アジアから南アジアへと漸次移行するという壮大なドラマの幕開けを意味するのか、それとも、景気循環要因による成長率の一時的な逆転現象でとるに足らない瑣末なエピソードに過ぎないのだろうか。研究開始当初、このような問題意識を持っていた。

2. 研究の目的

本研究「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」の課題は、目覚ましい経済成長で日本企業から最も注目されていたインド経済を、経済学・経営学・地理学・地域研究という多様なディシプリンからなる混成研究チームによって、その産業発展の特殊性と普遍性のみならずインド進出日系企業がその産業発展に果たす独自の役割にも焦点を当てて実証的に分析することである。本研究は、日系企業のグローバル生産ネットワーク（すなわち、国際価値連鎖）によるインド産業発展の再編を「ハイブリットモデル」と「新新貿易理論」をベースにして産業のみならず企業単位も含めて実証的に分析した。また、「新しい政治経済学」の立場から、インド産業発展の研究も深めた。さらに、本研究は企業生産性の精度の高い推定にも注力した。

なお、本研究は、基盤研究（B）「インドの産業発展と日系企業」（2013～2016年度、課題番号：25301022、研究代表者：佐藤隆広）を継承発展させたものである。基盤研究（B）の研究成果物である佐藤隆広編『インドの産業発展と日系企業』叢書77、神戸大学経済経営研究所、2017年として無償公開している。

本研究は、もともとは、(1)分析地域をインドから南アジア4カ国（インド・パキスタン・バングラデシュ・スリランカ）へ広げ、(2)日系企業の役割を国際価値連鎖（GVC）の研究フレームワークに準拠して「日系企業のGVC」という概念で捉え直すという2つの点で、わたしが代表の基盤研究（B）「インドの産業発展と日系企業」（平成25～28年度、25301022）を拡張することも企図していた。しかしながら、インド以外の南アジア諸国での現地調査は、テロや暴動による政情不安（バングラデシュとスリランカ）とインドとの軍事的緊張（パキスタン）、さらに2019年末からの新型コロナ禍によって実施できなかった。上記(1)の目的を実現できなかったものの、(2)の目的は実現することができた。

3. 研究の方法

インドの産業発展については、本共同研究チームによる研究業績を含めて国内外でもかなりの研究蓄積がある。米Duke大学のGary Gereffiの国際商品連鎖（Global Commodity Chains: GCC）・国際価値連鎖（Global Value Chains: GVC）、英Manchester大学のPeter Dickenやシンガポール国立大学のNiel Coeたちのグローバル生産ネットワーク（Global Production Networks: GPN）などのコンセプトにもとづいて、インド産業発展の研究が活発になされている。こうした活発な研究の背景には、多国籍企業のグローバルな活動や世界経済全体の統合化（グローバル化）があることは言うまでもないが、国境を超えた生産プロセスの分解（アンバンドリング）は、経済学の分野においても世界経済における中間財貿易の拡大という現象と相まって「フラグメンテーション」として注目されてきた。とりわけ、企業の異質性を織り込んだMelitz (2003)以降の新新貿易理論は、契約理論の成果などを取り込んでGCC/GVC/GPNの解明に取り組んでいる（Antràs 2016）。本研究もこうした社会科学分野における学術的潮流に影響を受けているが、海外の関連研究に対する本研究の独自性は何と言っても「日系企業のGVC」からインドの産業発展を検討するという視点である。

自動車、産業用機械や一部家電製品の分野においてインドにおける日系企業のプレゼンスは依然として高く、その産業発展に大きな影響を与え続けている。日系企業の研究については、海外の研究者に対してわれわれ日本人研究者は言語の障害もなく豊富な企業関係者との人脈などの面でも競争優位にある。また、共同研究メンバーの多くがインド経済の経済事情に精通しており、これら2つの点で、本研究は国際的にも独自の学術的貢献ができた。

(1)安保哲夫氏が代表を務める日本多国籍企業研究グループ(JMNESG)の日本的経営生産システムの進出先企業への移転に関するハイブリットモデル(Abo 1994)に依拠して、インドに進出している日系企業に対し工場調査を行う点、(2)新新貿易理論(Antràs 2016; Melitz 2003; Gopinath, Helpman and Rogoff 2014)をベースにしてインドの産業発展における日系企業の関わりを分析する点において、本研究は基盤(B)を発展させた。

本研究はインドの経済成長に関心を持っているが、それを精緻に分析するためには産業構造とその変化を克明に解明することが必要である。近年、産業構造変化と経済発展の関係について「未熟な脱工業化」という概念で新しい問題を提起したRodrik(2016)や工業化が高度成長を牽引する事実を改めて強調したRodrik(2013)などの研究に、本研究は特段の注意を払っている。本研究は、インドの経済統計と現地調査を通じてその産業発展を記述し分析した。とくに、本研究は、農業以外の全ての産業部門をカバーし、地理情報システム(GIS)を用いて産業の立地構造にも目配りをした。

(1)そのようなインド産業の基礎研究を前提として、本研究は南アジアの産業発展と日系企業のGVCの関係について、つぎのように考えている。日系企業のGVCが南アジア域内に網目を拡大させ、その結果、インドの産業構造が再編され高付加価値工程にアップグレードする可能性を高める。これは、生産性が異なる個別企業単位でみれば、貿易・R&D・FDI・アウトソーシング・外国技術移転などの企業行動に対応する。本研究は、こうした日系企業のGVCによるインドの産業発展の再編を、ハイブリットモデルと新新貿易理論をベースにして産業のみならず企業単位も含めて実証的に分析した。(2)加えて、産業発展を制約する要因として、本研究は「法と秩序」のような政治経済制度を重視した。国内外の政治経済状況が経済実績に甚大な影響を与えることは、新しい政治経済学(New Political Economy: NPE)による諸研究(Drazen 2000; Alesian and Rodrik 1994; Acemoglu, Johnson, and Robinson 2001; アセモグル・ロビンソン 2012)などで指摘されてきた。民主主義体制が堅持されてきたインドにおいても「法と秩序」を始めとする政治経済体制は時期や地域で異なっている(Banerjee and Iyer 2005)。本研究は、日系企業のGVCのみならず、インド産業発展の政治経済学も分析した。(3)本研究は、企業の実績を企業異質性の源泉と経済実績の尺度として最重視していた。したがって、本研究は企業生産性の精度の高い推定にも注力した。

4. 研究成果

本研究の最終成果物は、つぎの4種類に大別することができる。(A)「新新貿易理論」(New Trade Theory)と呼称される国際経済学の新しい理論的枠組みに準拠して、インド経済のグローバル化を、企業レベルデータを利用して実証的に分析した諸研究、(B)日本型経営の普及を企業単位で計測する「ハイブリットモデル」(日本多国籍企業研究グループ(JMNESG)が開発した)に依拠した調査を実施し、インド進出日本企業における日本型経営の適用度合いを計測し、その適度度合いと企業生産性に関する研究を行った研究、(C)インド企業・産業による国際価値連鎖(GVC)への参入とアップグレードという視点から、インドの様々な分野における産業発展の諸相を明らかにした諸研究、(D)「新しい政治経済学」(New Political Economy: NPE)に準拠したインド産業発展に関わる政治経済研究、である。以下、年度ごとに主要研究成果を解説する。その際、重要な研究成果を太字で示した。

2017年度：研究代表者の佐藤は、インド進出日系中小企業の実態(2013-14年調査)を分析した論文と経済産業省企業データを利用して1995~2014年度までのインド進出日系企業の動向を分析した論文を公表できた。これら2つの論文によって、インド進出日系企業の歴史的推移とその特徴を明らかにし、本共同研究の土台を構築することができた。また、分担研究者や連携研究者は、国際価値連鎖(GVC)分野においてインドのタイヤ産業や製薬産業に関して複数の論文を執筆し、新新貿易理論に関する理論的・実証的研究も複数本公表している(そのうちの1本は*Quarterly Review of Economics and Finance*に掲載された)。また、新しい政治経済学(NPE)分野ではインドの地主の政治力に関する実証的な研究が公表された。このほか、経営学分野では『国際ビジネス研究』にインドを事例とした新興国戦略に関する論文が掲載されたこと、地域研究分野ではインドの*Economic and Political Weekly*に縫製産業におけるコミュニティの機能を分析した論文が掲載されたことを特筆したい。

2018年度：(1)インドについては研究代表者の佐藤が航空機産業、分担者の上野がエアコン産業、上池が製薬産業、絵所が自動車産業、宇根が繊維産業、西尾・佐藤がフィンテック、上野・佐藤が自動車産業、研究協力者の下門が酪農業を、バングラデシュについては長田が縫製産業に関する論文を公刊している。(2)本年度の最大の収穫は、**インド製薬産業の発展史を緻密な分析で明らかにした上池あつ子『模倣と革新のインド製薬産業史』(ミネルヴァ書房)の公刊である。**本書では、国際価値連鎖(GVC)を方法論として、インド製薬産業の発展史を包括的に記述しているだけでなく、インドに進出している日系製薬企業の分析もなされている。こうしたインドにおける特定産業に関するモノグラフを公刊できた。(3)中国・ロシア・インドの比較経済分析を行った連携研究者の福味の共著論文や佐藤・福味論文、インドの産業構造変化と経済成長を分析した佐藤の共著論文などがある。日系企業のGVCにかかわる研究としては、ポーランドを対象とした安保の共著英語論文、タイを対象にした三嶋論文、日本企業における外国人労働力を対象とした長田論文が公刊された。

2019年度：(1)研究代表者の佐藤が自動車、分担者の絵所がトラクター産業、上池が製薬産業、

絵所が自転車産業、石上が電子産業、宇根が繊維産業を含むインフォーマル部門、西尾・佐藤がフィンテックなどの研究を公刊した。このほかに、研究協力者の古田が、貿易自由化がインド製造業の生産性に与える定量的な研究を、研究協力者の藤森が古田と佐藤と共著でインド製造業の生産性に対する FDI の効果に関する研究を公表した。(2)本年度の最大の収穫は、佐藤がゲストエディターとして編集した *Journal of Interdisciplinary Economics* 特集号がオンライン公開されたことである。絵所はインド経済の現状を、佐藤はインドにおける農村工業化を、上池がインドの製薬産業を、長田がバングラデシュの縫製産業を寄稿している。日本人研究者を中心として、ピアレビューの海外雑誌でこのような南アジア産業に関する特集号が組むことができたことを特筆したい。(3)加藤篤史と佐藤の共著でインドの政治経済学に関する英語での研究論文が公刊された。

2020 年度：(1)研究代表者の佐藤が、インド農業とインド進出日系企業、分担者の絵所がインドのエビ養殖業、酪農、ダイヤモンド産業および通信産業、石上がインドの ICT、宇根がインドの工業部門や在来産業、内川がインドの組立型産業、長田がバングラデシュの縫製産業などの研究を公刊した。また、研究協力者の三嶋はインドの二輪産業、上池がインドの製薬産業、古田がインドの工業部門、下門がインドの乳業、を分析した研究成果を公表した。(2)本年度の最大の収穫のひとつは、佐藤・上野編『**図解インド経済大全**』(白桃書房)を出版したことである。本書は、基礎研究を土台にしたインド産業を包括的に解説した一般書である。(3)佐藤は、分担者の西山と協力者の藤森との共著論文(インド進出日系企業の投資行動の分析)が *Pacific Economic Review* に、古田と藤森との共著論文(インドへの直接投資の経済効果に関する実証分析)が *Economic and Political Weekly* に掲載された。西山は、*The International Economy* に新貿易理論に関する論文 2 本が掲載された。分担者の加藤篤行は、*Global Journal of Emerging Market Economies* にアセアン・中国・インドの貿易競争に関する論文を、上池は *Transnational Corporations Review* に日本の直接投資とインド製薬産業に関する論文を、研究協力者の加藤篤史と福味は *Energy Policy* にインドの電力料金の政治経済学に関する研究論文を公刊した。さらに、英語での学術書 5 冊に佐藤、加藤篤史、福味と下門が研究論文を寄稿した。

2022 年度：(1)研究代表者の佐藤が「ハイブリッドモデル」に基づきインド進出日系企業の日本型経営の適用度を計測し、その適用度と企業生産性との関係を実証的に分析した論文を公表した。分担者の絵所秀紀がインドの皮革産業を、石上悦朗がインドの鉄鋼産業、長田華子がバングラデシュの縫製産業、などの研究を公刊した。また、研究協力者の西尾圭一郎はインドの金融、上池あつ子がインドの製薬産業、古田学が開発経済学の最新の研究動向、下門直人がインドの乳業、を分析した研究成果を公表した。深澤光樹は、バングラデシュ経済に関する研究書の英語での書評論文に加えて、佐藤隆広・上野正樹編『**図解インド経済大全**』(白桃書房)の書評論文を刊行した。(2)本年度の最大の収穫は、最終成果物として商業出版を前提にした研究書 2 冊について、すべての原稿を分担者と協力者から寄稿してもらい、出版準備を行ったことである。1 冊は、国際価値連鎖(GVC)を分析の枠組みとしたインド産業研究である『**経済大国インドの機会と挑戦**』(佐藤隆広編、白桃書房)もう 1 冊は新貿易理論をベースにしてインド経済のグローバル化を分析した研究書『**新貿易理論とインド経済：理論と応用**』(佐藤隆広・西山博幸編、ミネルヴァ書房)である。2023 年中の出版を計画している。(3)また、英語での学術書 3 冊に佐藤隆広、加藤篤史と秋塚賢太郎がそれぞれインド経済に関わる研究論文を寄稿し、日本語での啓蒙書 2 冊に佐藤隆広と上池あつ子がそれぞれインド経済に関わる論考を寄稿した。

< 引用文献 >

- Abo, T. (ed.) (1994). *Hybrid Factory*, Oxford University Press.
- Acemoglu, D., S. Johnson, S. and J.A. Robinson, J.A. (2001). "The Colonial Origins of Comparative Development," *American Economic Review*, 91.
- アセモグル・ロビンソン(2012)『**国家はなぜ衰退するのか**』早川書房、2013 年
- Alesian, A. and D. Rodrik (1994). "Distributive Politics and Economic Growth," *Quarterly Journal of Economics*, 109.
- Antràs, P. (2016). *Global Production*, Princeton University Press.
- Banerjee, A. and R. Iyer (2005), "History, Institutions, and Economic Performance," *American Economic Review*, 95(4).
- Drazen, A. (2000). *Political Economy in Macroeconomics*, Princeton University Press.
- Gopinath, G., E. Helpman and K. Rogoff (eds.) (2014). *Handbook of International Economics*, 4, Elsevier.
- Melitz, M. (2003). "The Impact of Trade on Intra-Industry Reallocations and Aggregate Industry Productivity," *Econometrica*, 71(6).
- Rodrik, D. (2013). "Unconditional Convergence in Manufacturing," *Quarterly Journal of Economics*, 128(1).
- Rodrik, D. (2016), "Premature Deindustrialization," *Journal of Economic Growth*, 21(1).

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計115件（うち査読付論文 29件 / うち国際共著 10件 / うちオープンアクセス 46件）

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 226(4)
2. 論文標題 インド進出日系製造企業における日本型雇用慣行：2021年アンケート調査を中心として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 81-108
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuki Fukasawa	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 Book Review : Shahidur Rahman, The Bangladesh Garment Industry and the Global Supply Chain: Choices and Constraints of Management (Routledge, 2021)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Asian Studies	6. 最初と最後の頁 257-260
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 90
2. 論文標題 インドにおける皮革・皮革製品産業発達の軌跡－原皮輸出国から靴生産大国へ－	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 155-218
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 123
2. 論文標題 インド製薬企業のメタナショナル経営戦略と吸収能力	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 経済学雑誌	6. 最初と最後の頁 15-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石上悦朗・井上修	4. 巻 72
2. 論文標題 インド国営鉄鋼企業 ラシュトリア・イスパット・ニガム社の経営問題 プロジェクト建設遅延と財務分析を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 経済経営研究（年報）	6. 最初と最後の頁 95-141
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 -
2. 論文標題 世界の縫製工場を支える、女性たち：『メイド・イン・バングラデシュ』が問うもの	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 映画「メイド・イン・バングラデシュ」パンフレット	6. 最初と最後の頁 16-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 825
2. 論文標題 バングラデシュ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 月刊 We Learn	6. 最初と最後の頁 8 - 9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾圭一郎	4. 巻 6
2. 論文標題 2010年代のインドにおける邦銀の活動状況（2）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 教育ガバナンス研究	6. 最初と最後の頁 43-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 古田学	4. 巻 10(1)
2. 論文標題 開発経済学における新しい潮流 - ランダム化比較実験と構造推定	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 経済学研究	6. 最初と最後の頁 71-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下門直人	4. 巻 28
2. 論文標題 インドの牛乳・乳製品市場を巡る競争と酪農業協同組合	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア経営研究	6. 最初と最後の頁 53-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20784/jamsjsaam.28.0_53	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 下門直人	4. 巻 196
2. 論文標題 インドにおける酪農業協同組合と台頭するミルク生産者企業	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 経済論叢	6. 最初と最後の頁 133-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/278446	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深澤光樹	4. 巻 225
2. 論文標題 書評：佐藤隆広・上野正樹編『図解インド経済大全』（白桃書房，2021年）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 67-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 70
2. 論文標題 新型コロナ禍のなかのインド進出日系企業：2020年アンケート調査の結果を中心として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済経営研究（年報）	6. 最初と最後の頁 31-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Shuji Uchikawa, Takahiro Sato	4. 巻 DP2021-08
2. 論文標題 The Weak Nexus between Small and Medium Factories and Large Factories in India's Assembly Industries?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 RIEB Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1月21日
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石上悦朗	4. 巻 65(3,4)
2. 論文標題 インドとアメリカのICTサービス取引と人材の国際移動	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 327-356
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 44
2. 論文標題 持続可能な生産と女性の人権 南アジア（バングラデシュ、インド）の縫製労働者の事例から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 比較経営研究	6. 最初と最後の頁 4月29日
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 298
2. 論文標題 日本経済を読み解くキーワード・シリーズ グローバル・サプライチェーン	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済	6. 最初と最後の頁 98-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 73(11)
2. 論文標題 持続可能な衣服の生産と消費を考える 南アジア (バングラデシュとインド) の事例から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊せんい	6. 最初と最後の頁 625-631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野正樹	4. 巻 35
2. 論文標題 新興国ボリュームゾーンにおける日本企業の製品特性：インドのオートバイ市場の分析事例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 南山経営研究	6. 最初と最後の頁 407-421
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama, Manabu Furuta, Yasuyuki Sugiyama	4. 巻 117
2. 論文標題 Does emission-abatement policy reduce emissions? Evidence from Indian manufacturing sector	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Institute for Policy Analysis and Social Innovation, University of Hyogo, Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama, Yasuhiro Gintani, Mizuki Tsuboi	4. 巻 119
2. 論文標題 The impact of trade on economic growth and welfare with heterogeneous firms and labor market frictions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Institute for Policy Analysis and Social Innovation, University of Hyogo, Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 下門直人	4. 巻 -33
2. 論文標題 インドの協同組合研究を通じて考える協同のおもしろさ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 くらしと協同	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下門直人	4. 巻 -34
2. 論文標題 事業者間の協同を促すプラットフォームとしての西日本産直協議会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 くらしと協同	6. 最初と最後の頁 46-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 35(2)
2. 論文標題 同族所有・同族経営が企業の業績に与える影響：インド製菓企業を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中央学院大学商経論叢	6. 最初と最後の頁 45-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 66
2. 論文標題 「世界の薬局」インドのワクチン開発・分配戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 32-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Madhuri Kumari, Nalin Bharti and Atsuko Kamiike	4. 巻 forthcoming
2. 論文標題 Japan's investment in India: post Covid-19 investment opportunities in pharmaceuticals	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Transnational Corporations Review	6. 最初と最後の頁 1月16日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/19186444.2021.1898860	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Atsushi Kato, Atsushi Fukumi	4. 巻 145
2. 論文標題 Political economy of agricultural electricity tariffs: Rural politics of Indian States	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Energy Policy	6. 最初と最後の頁 111755
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.enpol.2020.111755	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 88(1,2)
2. 論文標題 外貨獲得産業としてのインド・エビ養殖業の発展	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 179-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 88(3)
2. 論文標題 「聖牛論争」とその後—インド牛経済論に向けての序論—	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 65-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 88(4)
2. 論文標題 インドにおけるダイヤモンド産業の勃興と発展	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 547-585
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三嶋恒平	4. 巻 194(2)
2. 論文標題 新興国ボリュウムゾーンへの多国籍企業の供給対応 インドネシアオートバイ産業における市場と企業間競争	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済論叢 (京都大学経済学会)	6. 最初と最後の頁 109-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三嶋恒平	4. 巻 113(1)
2. 論文標題 新興国ボリュウムゾーンへの地場系企業の供給対応 : インドオートバイ産業におけるバジャジの戦略と行動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 三田学会雑誌	6. 最初と最後の頁 33-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇根義己	4. 巻 66
2. 論文標題 現代インドの大規模繊維産地における企業特性と参入行動ーコインバトルの紡績業を事例にー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 425-451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇根義己	4. 巻 12
2. 論文標題 現代インド繊維・アパレル産業における輸出企業の立地特性：アパレル輸出振興会の会員を対象に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 広島大学現代インド研究：空間と社会	6. 最初と最後の頁 13-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇根義己	4. 巻 12
2. 論文標題 クラフト型産業の産業集積	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 広島大学現代インド研究：空間と社会	6. 最初と最後の頁 1-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内川秀二	4. 巻 66
2. 論文標題 インド加工組立型製造業における中小企業の発展	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 239-263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤森梓	4. 巻 66(2-3)
2. 論文標題 アジア域内における生産ネットワークと日系企業：企業データを用いた進出パターンの研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 395-424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福味敦	4. 巻 70
2. 論文標題 巨大新興国インド 脱石炭への高いハードル	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 26-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福味敦	4. 巻 2022(1・3-20)
2. 論文標題 インドの電力改革と農村	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 電気学会研究会資料	6. 最初と最後の頁 43-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 66
2. 論文標題 インド原薬産業の競争優位の再構築	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 359-394
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 66
2. 論文標題 「世界の薬局」インドのワクチン開発・分配戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 38-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 21
2. 論文標題 新型コロナウイルス感染症がインド製薬産業に与えた影響	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊 PHARM STAGE (ファーム ステージ)	6. 最初と最後の頁 45-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 21
2. 論文標題 新型コロナウイルスによるインド医薬品市場の変化と製薬企業の現状	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊 PHARM STAGE (ファーム ステージ)	6. 最初と最後の頁 72-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 89
2. 論文標題 インドにおける牛屠殺禁止の経済的帰結と「桃色革命」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 199-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 66
2. 論文標題 インドにおけるモバイル・エコノミー成長の特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 69-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama, Yasuhiro Gintani	4. 巻 24
2. 論文標題 Globalization trap? Trade and labor market interactions revisited	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 166-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomy/ie2020.24.07.hn	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama, Azusa Fujimori, Takahiro Sato	4. 巻 24
2. 論文標題 Regional disparities, firm heterogeneity, and the activity of Japanese manufacturing multinationals in India	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pacific Economic Review	6. 最初と最後の頁 462-488
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1468-0106.12384	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama, Sayaka Takada, Mizuki Tsuboi	4. 巻 25
2. 論文標題 Trade liberalization, an employment double-dividend hypothesis, and welfare with heterogeneous firms	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The International Economy	6. 最初と最後の頁 19-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5652/internationaleconomy/ie2022.25.02.hn	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Atsuyuki KATO	4. 巻 14
2. 論文標題 Trade Competition Between ASEAN, China, and India: The Post-trade War and COVID-19 Scenario	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Global Journal of Emerging Market Economies	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/09749101211073376	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾圭一郎	4. 巻 5
2. 論文標題 2010年代のインドにおける邦銀の活動状況(1)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 教育ガバナンス研究	6. 最初と最後の頁 55-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Azusa FUJIMORI, Manabu FURUTA, Takahiro SATO	4. 巻 56(39)
2. 論文標題 Technological Diffusion through Foreign Direct Investment: A Firm-level Analysis of Indian Manufacturing Industries	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Economic and Political Weekly	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古田学	4. 巻 2
2. 論文標題 貿易保護政策による賃金への影響 インド年次工業調査を用いて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 愛知学院大学経済研究所所報	6. 最初と最後の頁 41-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 310
2. 論文標題 グローバル・サプライチェーンとディーセント・ワークー「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済	6. 最初と最後の頁 41 - 51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 66(2,3)
2. 論文標題 インドの農業問題再考	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福岡大学商学論叢	6. 最初と最後の頁 265-299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 69
2. 論文標題 インド自動車産業における就業者とその特徴	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済経営研究(年報)	6. 最初と最後の頁 17-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Sato, Aradhna Aggarwal	4. 巻 32(1)
2. 論文標題 Productivity Dynamics and Rural Industrialisation in India	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Interdisciplinary Economics	6. 最初と最後の頁 23-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0260107919875585	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hideki Esho	4. 巻 32(1)
2. 論文標題 Modinomics 1.0 and the Indian Economy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Interdisciplinary Economics	6. 最初と最後の頁 12-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0260107919875569	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 87
2. 論文標題 インドにおける農業機械化進展の特徴—トラクター産業を中心に—	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 201-281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 212
2. 論文標題 開発経済学の中で貧困はどのように捉えられてきたのか?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済セミナー	6. 最初と最後の頁 19-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideki Esho, Peng Xu	4. 巻 216
2. 論文標題 Changing Dynamics of the Great-Sphere Asian Economy: Industry and Development (Part 2)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Institute of Comparative Economic Studies, Hosei University Working Paper	6. 最初と最後の頁 1-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 69
2. 論文標題 インド製薬企業のオープンイノベーション	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済経営研究(年報)	6. 最初と最後の頁 145-178
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 2019年7月号
2. 論文標題 インドの医薬品価格規制と薬価動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊 PHARM STAGE(ファーム ステージ)	6. 最初と最後の頁 37-40
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Atsuko Kamiike	4. 巻 32(1)
2. 論文標題 The TRIPS Agreement and the Pharmaceutical Industry in India	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Interdisciplinary Economics	6. 最初と最後の頁 95-113
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0260107919875573	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanako Nagata	4. 巻 32(1)
2. 論文標題 Female Workers' Skills, Wages, and Householding in Bangladesh's Readymade Garment Industry: The Case of a Japanese Multinational Company	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Interdisciplinary Economics	6. 最初と最後の頁 47-74
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0260107919875571	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 石上悦朗	4. 巻 2019年夏季号 42
2. 論文標題 経済政策から見た第2次モディ政権の課題 「Make in India」と電子産業	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 24-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安保哲夫	4. 巻 2014
2. 論文標題 関西ベイント・南アフリカ(Kansai Plascon : KPAL) - 意図せざる「日本式」の移入? -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『アフリカにおける日本企業の事例研究』法政大学イノベーションマネジメント研究センタ・ワーキング・ペーパーシリーズ	6. 最初と最後の頁 1-10.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安保哲夫	4. 巻 2013
2. 論文標題 BMW・南アフリカ工場 (BMW SA Plant) - ドイツ・プレミアム車メーカーによる「日本の生産方式」への取り組み -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『アフリカにおける日本企業の事例研究』法政大学イノベーションマネジメント研究センタ・ワーキング・ペーパーシリーズ	6. 最初と最後の頁 1-13.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西尾圭一郎、佐藤隆広	4. 巻 24
2. 論文標題 インドにおけるフィンテックの展開: フィンテックがアンバンドリングを通じて銀行業に与える影響の考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大銀協フォーラム研究助成論文集	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manabu Furuta	4. 巻 7(2)
2. 論文標題 The Impact of Trade Liberalization on Productivity in the Indian Manufacturing Sector	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済学研究	6. 最初と最後の頁 11-25.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇根義己、友澤和夫	4. 巻 92
2. 論文標題 インド・デリーのインフォーマル工業部門における産業集積の存立構造	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地理学評論	6. 最初と最後の頁 153-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川中薫	4. 巻 第17巻第3号
2. 論文標題 国立国会図書館関西館アジア情報室におけるヒンディー語蔵書の評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア情報室通報	6. 最初と最後の頁 2-7.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Atsuyuki Kato	4. 巻 19-E-082
2. 論文標題 Exchange Rates and Intra- and Inter-Firm Trade in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 加藤篤行、呉青姫	4. 巻 第40巻1号
2. 論文標題 米国と中国における日系企業現地法人の活動について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 73-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama、Atsuyuki Kato、Isao Kamata	4. 巻 51
2. 論文標題 Japanese Multinationals: Evidence from the ASEAN and China	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Discussion Paper, . Kanazawa University Faculty of Economics and Management	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 217
2. 論文標題 インド政府統計からみたインドの航空産業に関する研究ノート	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 51-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 酒巻哲朗、佐藤隆広、市川恭子、齋藤善政、藤本知利	4. 巻 44
2. 論文標題 インドの経済成長と産業構造	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ESRI Research Note	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西尾 圭一郎、佐藤隆広	4. 巻 DP2019-J04
2. 論文標題 インドにおけるフィンテックの現状	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIEB Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Willem Thorbecke, Atsuyuki Kato	4. 巻 40
2. 論文標題 Exchange Rates and the Swiss Economy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Policy Modeling	6. 最初と最後の頁 1182-1199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 86
2. 論文標題 国際価値連鎖とインドの自転車産業	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 1-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideki Esho	4. 巻 14
2. 論文標題 Comment on "India's Economic Reforms: Achievement and Next Steps"	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asian Economic Policy Review	6. 最初と最後の頁 63-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 86
2. 論文標題 インドの大メコン圏へのコミットメントーC L M Vとの関係を中心にー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 331-360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宇根義己	4. 巻 73
2. 論文標題 現代インドの繊維・アパレル産業の空間構造	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地理科学	6. 最初と最後の頁 127-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇根義己	4. 巻 64
2. 論文標題 海外研究アジア	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 188-199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 336
2. 論文標題 作り手が報われる社会を目指して 安価な衣服の生産拠点バングラデシュの労働実態から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊D10	6. 最初と最後の頁 4-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野正樹	4. 巻 11
2. 論文標題 新興国戦略の転換：戦略タイプ別市場成果の測定	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際ビジネス研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野正樹	4. 巻 25
2. 論文標題 価格・品質ポジショニングマップによる新興国市場分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア経営研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野正樹、佐藤隆広	4. 巻 DP2019-J06
2. 論文標題 インドにおけるスズキの競争力	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIEB Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野正樹	4. 巻 10
2. 論文標題 新興国戦略の再考：本国優位性の活用と水平展開プロセス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際ビジネス研究	6. 最初と最後の頁 3-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広、福味敦	4. 巻 56
2. 論文標題 ユーラシア地域大国における石油価格とマクロ経済：中国・インド・ロシアを事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較経済研究	6. 最初と最後の頁 17-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田畑伸一郎、梶谷懐、福味敦	4. 巻 56
2. 論文標題 ロシア、中国、インドの中央・地方財政関係の比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 比較経済研究	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福味敦	4. 巻 29
2. 論文標題 書評佐藤創・太田仁志 (編) 『インドの公共サービス』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 南アジア研究	6. 最初と最後の頁 220-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福味敦	4. 巻 39
2. 論文標題 モディ政権の電力改革	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代インド・フォーラム	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川中薫	4. 巻 0
2. 論文標題 国立国会図書館関西館アジア情報室におけるヒンディー語蔵書の評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アジア情報室通報	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三嶋恒平	4. 巻 219
2. 論文標題 輸入代替プロセスを通じた産業発展 : タイ二輪車産業の事例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 53-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 68
2. 論文標題 インドのバイオ医薬品企業の経営戦略 - Bioconの事例研究を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済経営研究 (年報)	6. 最初と最後の頁 111-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Olejniczak, Tomasz, Masato Itohisa, Tetuso Abo, Hiroshi Kumon	4. 巻 10(4)
2. 論文標題 Measuring Change in 'Hybrid Factories': Longitudinal Study of Manufacturing Subsidiaries in Poland	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Intercultural Management	6. 最初と最後の頁 109-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2478/joim-2018-0027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 63
2. 論文標題 『中国経済学』を読む	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア研究	6. 最初と最後の頁 5-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長田華子	4. 巻 702
2. 論文標題 世界の縫製工場バングラデシュで何が起きているか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 19-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuji Uchikawa	4. 巻 152
2. 論文標題 Caste Membership, Business Access, and Social Mobility among Indian Apparel Manufacturers	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Economic and Political Weekly	6. 最初と最後の頁 58-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Prabir Battacharya、Takahiro Sato	4. 巻 17
2. 論文標題 Estimating regional returns to education in India: A fresh look with pseudo-panel data	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Progress in Development Studies	6. 最初と最後の頁 282-290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1464993417716357	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 宇根義己	4. 巻 69
2. 論文標題 製造業	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 353-356
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川中薫	4. 巻 17
2. 論文標題 Mobility Patterns of Migrant Tailors in the Apparel Export Industry of Delhi, India	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本感性工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 63-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 67
2. 論文標題 中小企業のインド進出 - 2013 ~ 14年アンケート調査に基づく一考察 -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 商工金融	6. 最初と最後の頁 5-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Nishiyama	4. 巻 64
2. 論文標題 The effect of exchange rate fluctuation on intra-industry reallocation in a firm heterogeneity model with trade and foreign direct investment	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quarterly Review of Economics and Finance	6. 最初と最後の頁 32-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.qref.2016.09.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 85
2. 論文標題 国際価値連鎖の中のインドのタイヤ産業	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 85-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福味敦	4. 巻 85
2. 論文標題 インドにおける農業発展と電力	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 465-485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石上悦朗	4. 巻 85
2. 論文標題 インド指定商業銀行の不良債権問題について - 岐路に立つ「政府の銀行」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 403-435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上池あつ子	4. 巻 85
2. 論文標題 TRIPS協定後のインド製薬企業の経営戦略: Zydus Cadilaの事例研究を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 247-285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広、加藤篤行	4. 巻 85
2. 論文標題 インドにおける日系企業の事業活動：経済産業省『海外事業活動基本調査』個票データを利用して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 155-196
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤篤史	4. 巻 85
2. 論文標題 インドの社会システムは変化してきたか：地主層の政治的影響力の検証	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 131-154
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 絵所秀紀	4. 巻 669
2. 論文標題 『モディノミクス』とインド経済のパフォーマンス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水野寛之、村上善道、佐藤隆広	4. 巻 67
2. 論文標題 BRICS経済の発展経路：成長回帰分析を用いて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済経営研究（年報）	6. 最初と最後の頁 167-199
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤隆広	4. 巻 217
2. 論文標題 インド政府統計からみたインドの航空機産業に関する研究ノート	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国民経済雑誌	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Willem Thorbecke and Atsuyuki Kato	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Exchange Rate and the Swiss Economy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Policy Modeling	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 上野正樹	4. 巻 10
2. 論文標題 新興国戦略の再考：本国優位性の活用と水平展開プロセス	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際ビジネス研究	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計196件（うち招待講演 42件 / うち国際学会 49件）

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Labour Allocation of the Indian Automobile Industry: With Special Reference to the Transferability of Japanese Management Practices
3. 学会等名 Department of Humanities and Social Sciences, IIT Madras, Chennai, India, and Manchester University, UK (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Global Value Chain Participation of the Indian Economy
3. 学会等名 International Symposium : 14th Indo-Japanese Dialogue on Prospects of the Socio-Economic Development in the Post-Covid India (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Japanese Employment Practices in Japanese Manufacturing Firms in India: Results of the 2021 Questionnaire Survey
3. 学会等名 Department of Management Studies Seminar of Indian Institute of Technology Delhi (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Japanese Employment Practices in Japanese Manufacturing Firms in India: Results of the 2021 Questionnaire Survey
3. 学会等名 Jawaharlal Nehru University (JNU) & Japan Foundation (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 India-Japan. Economic Relations: Contribution of the Japanese MNCs
3. 学会等名 India-Japan Relations and the Security of the Indo-Pacific (ASEAN Study Center North-Eastern Hill University) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Impact of Long-Term Transactions of Local Parts Suppliers with Foreign Assemblers on the Suppliers' Entry into Global Value Chains (GVCs): The Case of the Automotive Industry in India, 1997-2016
3. 学会等名 International Symposium: 15th Indo-Japanese Dialogue on Economic Development in the Post-COVID India (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Isao Kamata
2. 発表標題 Foreign Direct Investment and Labor Market Conditions in Source & Destination Economies
3. 学会等名 Western Economic Association International (WEAI) 97th Annual Conference (hybrid, virtual session) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド経済のGVCへの参入
3. 学会等名 ワークショップ「ウクライナ侵攻後の世界経済：ロシア・中国・インド（２）」（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド進出日系製造企業における日本型雇用慣行：2021年アンケート調査の結果を中心として
3. 学会等名 日本労務学会 関西部会 第2回研究会（共催：経営行動科学学会 西日本部会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド進出日系製造企業における日本型雇用慣行
3. 学会等名 一橋大学経済研究所 経済発展研究会（経済制度研究センターセミナー共催）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 上池あつ子
2. 発表標題 医薬品のグローバルサプライチェーンの再編とインド
3. 学会等名 日本南アジア学会 第35回全国大会（帝京大学 八王子キャンパス）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 上池あつ子
2. 発表標題 インド製薬企業のメタナショナル経営戦略と吸収能力
3. 学会等名 International Symposium on the Social Development in South Asia
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 インドにおけるフィンテックの展開と現状
3. 学会等名 証券経済学会第94回全国大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 インドにおけるフィンテック・エコシステム
3. 学会等名 日本金融学会西日本部会2022年度第1回例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古田 学
2. 発表標題 海外直接投資との長期取引関係による現地企業のGVCへの参入動向：インド自動車産業を例として
3. 学会等名 日本南アジア学会第35回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 下門直人
2. 発表標題 インドの牛乳・乳製品を巡る競争と酪農業協同組合
3. 学会等名 International Symposium on The Social Development in South Asia
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 ウクライナ侵攻とインド
3. 学会等名 シンポジウム「ウクライナ戦争後の世界経済：ロシア・中国・インド」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 BRICSのエネルギー政策
3. 学会等名 ワークショップ「ウクライナ侵攻後の世界経済：ロシア・中国・インド（2）」（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 インドのエネルギー政策とウクライナ戦争
3. 学会等名 日本南アジア学会第35回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鎌田伊佐生
2. 発表標題 Foreign Direct Investment and Labor Market Flexibility in Host and Source Countries
3. 学会等名 神戸国際経済研究会（KIES）16th meeting（オンライン）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インドの自動車産業における労働配分：日本的経営・生産システムの移転
3. 学会等名 兵庫県立大学政策科学研究所 第4回 政策科学研究所セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Labor Allocation of the Indian Automobile Industry: With Special Reference to the Transferability of Japanese Management Practices
3. 学会等名 The 12th INDAS-South Asia International Conference, "Understanding the Transitional Process from Agrarian to Industrialized Economy in South Asia: With a Focus on Employment and Labor Markets" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インドのこれまでと最先端事情
3. 学会等名 タイガーマブ株式会社・オンラインセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 1991年経済自由化以降のマクロ経済パフォーマンス、産業構造・貿易構造の軌跡と展望
3. 学会等名 日本貿易振興機構 第1回ジェトロ・インド研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 The Economic Impact on COVID-19 on Japanese Multinationals in India
3. 学会等名 SBIL's Special International Lecture Series "State of Global Economy during the Pandemic," State Bank Institute of Leadership (SBIL) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド経済の現状と展望
3. 学会等名 トークLIVE「インド最前線」開発協力ひろばオンライン版
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド進出日系企業へのアンケート調査（速報）
3. 学会等名 ウェビナー「コロナ禍のインド進出日系企業」（基盤研究（A）/株式会社ジャパンディア共催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Session IV: Economic Engagement in the Indo-Pacific?
3. 学会等名 Japan's Grand Strategy in the Indo-Pacific: Debates, Dialogues and Deliberations
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Panel Discussion: Measures to be Integrated with Global Supply Chain & to Strengthen Global Competitiveness
3. 学会等名 India's potential in the global economy
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古田学
2. 発表標題 インド経済の現状と課題
3. 学会等名 アジア太平洋研究所 「インド/アジアの人材活用」 第4回研究会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 インドの経済発展について グローバル化とローカルな構造
3. 学会等名 日本国際経済学会関西支部九州・山口地区研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 持続可能な生産と消費 衣服から考える
3. 学会等名 茨城県県北生涯学習センター「2030近未来計画SDGs」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 南アジアの繊維・縫製産業と女性労働力 地域研究とフェミニスト経済学の交差
3. 学会等名 人間文化研究機構・2020年度南アジアセミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 持続可能な衣服の生産と消費を考える 私たちにできることとは何だろう
3. 学会等名 つながるカレッジねりま環境分野エコ・アドバイザーコース
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 ファストファッションの裏側 バングラデシュにおける縫製工場の現状と課題
3. 学会等名 日本人間工学会衣服人間工学部会研究例会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 ジェンダー問題からみるファストファッションの世界
3. 学会等名 明治学院大学ボランティアセンター（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西尾圭一郎・佐藤隆広
2. 発表標題 インドにおけるフィンテックの進展と金融業への影響
3. 学会等名 証券経済学会中部部会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 日本市場向けアパレル生産のインド展開 品質管理と商慣行に着目して
3. 学会等名 2020年度広島大学現代インド研究センター第2回研究集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 Labor Migration, Entrepreneurial Activity, and Industrial Agglomeration: Urban Informal Garment Sector in Delhi
3. 学会等名 The 12th INDAS-South Asia International Conference, "Understanding the Transitional Process from Agrarian to Industrialized Economy in South Asia: With a Focus on Employment and Labor Markets" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内川秀二
2. 発表標題 The Weak Nexus between Small and Medium Factories and Large Factories in India's Assembly Industries
3. 学会等名 RIEBセミナー(科研基盤研究(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点(TINDAS)共催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下門直人
2. 発表標題 インドにおける農民の貧困緩和と協同組合 - 酪農業協同組合AMULのビジネスを事例に
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会、関東・中部合同部会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naoto Shimokado
2. 発表標題 Sustainable Rural Development and Agribusiness in India: A Case Study of the Food Chain Management of AMUL
3. 学会等名 The 12th INDAS-South Asia International Conference, "Understanding the Transitional Process from Agrarian to Industrialized Economy in South Asia: With a Focus on Employment and Labor Markets" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 インドの貧困問題とコロナ禍
3. 学会等名 兵庫県立大学知の交流シンポジウム2020連携セミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 インド亜大陸における農業と地下水資源問題
3. 学会等名 兵庫県立大学知の交流シンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kaoru Kawanaka
2. 発表標題 "Tailor Network and Local Production Organization in the Apparel Export Industry of Delhi"
3. 学会等名 The 12th INDAS-South Asia International Conference, "Understanding the Transitional Process from Agrarian to Industrialized Economy in South Asia: With a Focus on Employment and Labor Markets" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Atsuko Kamiike
2. 発表標題 Human Capital Development in Indian Biopharmaceutical Industry: A Case Study of Biocon
3. 学会等名 The 12th INDAS-South Asia International Conference, "Understanding the Transitional Process from Agrarian to Industrialized Economy in South Asia: With a Focus on Employment and Labor Markets" (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 クラフト型産業の産業集積
3. 学会等名 第5回HINDAS研究集会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤森梓
2. 発表標題 Regional disparities, firm heterogeneity, and the activity of Japanese manufacturing multinationals in India
3. 学会等名 日本国際経済学会第10回春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三嶋恒平
2. 発表標題 蘇州の日系企業から問う
3. 学会等名 アジア金型産業フォーラム(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三嶋恒平
2. 発表標題 蘇州の日系企業からみる中国自動車部品産業の実態
3. 学会等名 アジア金型産業フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三嶋恒平
2. 発表標題 インドの耐久消費財市場と地場系企業のGVC構築行動
3. 学会等名 アジア経営学会第28回全国大会統一論題（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三嶋恒平
2. 発表標題 海外直接投資を巡る研究レビュー
3. 学会等名 多国籍企業学会第83回東部部会・国際ビジネス研究学会第106回関東部会共同開催
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A t s u s h i F u k u m i
2. 発表標題 Understanding current status of power sector reform in India
3. 学会等名 The Joint Study on the Indo-Japanese Cooperation under the Indo-Pacific Initiative（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 インド・パンジャブ州における農業と電力改革
3. 学会等名 地球研Aakashプロジェクト(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 インドの電力改革と農村
3. 学会等名 電気学会 電力系統技術研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 K a m a t a , I s a o
2. 発表標題 Labor Market Flexibility and Inward Foreign Direct Investment: Incentive or Outcome?
3. 学会等名 Western Economic Association International (WEAI) 96th Annual Conference (virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 K a m a t a , I s a o
2. 発表標題 Labor Market Flexibility and Inward Foreign Direct Investment: Incentive or Outcome?
3. 学会等名 European Trade Study Group (ETSG) 22nd Annual Conference (hybrid) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 上池あつ子
2. 発表標題 インド原薬（API）産業の競争優位の再構築
3. 学会等名 RIEBセミナー「インド製薬産業と『自立するインド』」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 絵所秀紀
2. 発表標題 インド輸出志向産業の価値転換－周縁から中心へ－
3. 学会等名 人間文化研究機構・龍谷大学拠点RINDAS経済班・総括研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 キャッシュレス化の未来像～中国やインド等、諸外国との比較から～
3. 学会等名 豊明市大学市民講座（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 キャッシュレス化と日本経済の未来：中国、インドなどの例から見る将来像
3. 学会等名 知立市生涯学習推進講座（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 インドにおけるNBFC
3. 学会等名 国際金融・開発経済研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 コロナ前後のインドにおける邦銀のバランスシート分析
3. 学会等名 国際ビジネス研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古田 学
2. 発表標題 海外直接投資との長期取引関係による地場企業のGVCへの参入動向:インド自動車産業を例として
3. 学会等名 多国籍企業学会・国際ビジネス研究学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 インドのICTサービスとデジタル経済について
3. 学会等名 RIEBセミナー:第5回『図解インド経済大全』(白桃書房)出版記念セミナー(科研基盤研究(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点(TINDAS)共催
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 最近のインド鉄鋼業とITサービス産業について
3. 学会等名 兼松セミナー（科研基盤研究（A）「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点（TINDAS）共催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 下門直人
2. 発表標題 インドの酪農業協同組合によるアグリビジネスの確立と貧困への対応
3. 学会等名 アジア経営学会第28回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド進出日系企業の軌跡と展望
3. 学会等名 第5回福岡金融研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド進出日系企業の軌跡と展望
3. 学会等名 APIRフォーラム「アジア人材との共働社会」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takahiro SATO
2. 発表標題 Global Value Chain Participation of the Indian Economy.
3. 学会等名 The State of Foreign Trade- #Talking Trade. (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 新興国における日本型雇用慣行：インドを事例として
3. 学会等名 神戸大学経済経営研究所ウェビナー「日本型雇用慣行の行方：日本と新興国の経験から考える」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド進出日系企業の事業活動と企業内・企業間貿易
3. 学会等名 KIES 13th meeting
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro SATO
2. 発表標題 "Prospects for India-Japan Economic Cooperation: Evidence from the Activities of Japanese Multinational Companies in India."
3. 学会等名 10th ICRIER-PRI Workshop, "Policy Responses to COVID19 in India and Japan and Prospects for Economic Cooperation Going Ahead" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Social and Economic Changes in a Punjab Village: A Long-Term Perspective
3. 学会等名 Seminar at Punjab Agricultural University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Workers in the Auto Industry in India: A Fresh look at India's Periodic Labour Force Survey
3. 学会等名 RIEBセミナー (基盤研究(A)/TINDAS/基盤研究(C)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Social and Economic Changes in a Punjab Village: A Long-Term Perspective
3. 学会等名 RIEBセミナー Seminar on the Political Economic Issues in South Asia(基盤研究(A)/TINDAS/基盤研究(B)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Determinants of success in the automobile industry in India: An analysis of foreign and local enterprise data for 2000-2008
3. 学会等名 13th Indo-Japanese Dialogue on "Indian Economic Development" at Punjab Agricultural University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インドにおけるスズキの競争力：製品特性分析による企業戦略と競争力の探索
3. 学会等名 日本国際経済学会 第9回春季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Sato, Kamal Vatta
2. 発表標題 Economic Diversification of the Agricultural Households in India
3. 学会等名 International Conference on Asia's Development Experiences in 21st Century at Panjabi University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 これからのインド～下院総選挙結果と今後のインド経済
3. 学会等名 太陽グラントソントン グローバルセミナー これからのインドビジネスの勘どころ(主催：太陽グラントソントン(グラントソントン加盟事務所))(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古田学、佐藤隆広、大塚啓二郎
2. 発表標題 Determinants of Success in the Automobile Industry in India: An Analysis of Foreign and Local Enterprise Data for 2000-2008
3. 学会等名 RIEBセミナー(基盤(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」、 「南アジア地域研究」東大拠点(TINDAS)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西山博幸
2. 発表標題 Location strategy of Japanese multinationals: Evidence in ASEAN and China
3. 学会等名 同志社大学人文科学研究所第20期部門研究会第4研究「ASEANの連結と亀裂の研究：供給連鎖・資源・領有権の東アジア的地経学・地政学」 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 上野正樹
2. 発表標題 新興国市場の制覇：インド自動車市場におけるスズキの競争力
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会中部支部
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上野正樹
2. 発表標題 インド製造業と企業競争力
3. 学会等名 アジア経営学会第26回全国大会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaki Ueno
2. 発表標題 The Linkage of Competitiveness: Competitive Advantage of Maruti Suzuki in Indian Automobile Market
3. 学会等名 南山経営学会ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Masaki Ueno
2. 発表標題 The Effect of Home-Based Advantage in Indian Automobile Market: Relations between Competitiveness Factors of Maruti Suzuki
3. 学会等名 RIEBセミナー 基盤研究(A)/TINDAS/基盤研究(C)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Atsushi Fukumi
2. 発表標題 Electricity and Agricultural Development in Punjab
3. 学会等名 RIEBセミナー Seminar on the Political Economic Issues in South Asia(基盤研究(A)/TINDAS/基盤研究(B)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Atsushi Fukumi
2. 発表標題 Electricity and agricultural development in Punjab
3. 学会等名 13th Indo-Japanese Dialogue on "Indian Economic Development" at Punjab Agricultural University, Ludhiana (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hideki Esho
2. 発表標題 Regional Disparity in Asia-Pacific: An Empirical Investigation
3. 学会等名 Institute of Comparative Economic Studies, Hosei University
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 絵所秀紀
2. 発表標題 インドにおける農業機械化進展の特徴ートラクター産業を中心にー
3. 学会等名 人間文化研究機構・RINDAS研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 A t s u s h i K a t o
2. 発表標題 Elite politics v/s mass politics: Electricity tariffs in India
3. 学会等名 13th Indo-Japanese Dialogue on “ Indian Economic Development ” at Punjab Agricultural University, Ludhiana (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 A t s u s h i K a t o
2. 発表標題 Elite Politics vs. Mass Politics: Electricity Tariffs in India
3. 学会等名 RIEBセミナー Seminar on the Political Economic Issues in South Asia(基盤研究(A) / TINDAS / 基盤研究(B) 共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤篤史
2. 発表標題 Political Economy of Electricity Loss: Ruling Parties and Support Bases
3. 学会等名 インドと国際化する日本企業に関する研究会 (日本南アジア学会九州部会・東京大学現代南アジア研究拠点 (TINDAS) ・基盤研究(A) 「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Manabu Furuta、Takahiro Sato、Keijiro Otsuka
2. 発表標題 Determinants of Success in the Automobile Industry in India: An Analysis of Foreign and Local Enterprise Data for 2000-2008
3. 学会等名 日本国際経済学会第9回春季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Manabu Furuta、Prabir Bhattacharya、Takahiro Sato
2. 発表標題 Effects of Trade Liberalization on the Gender Wage Gap: Evidence from Panel Data of the Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 The 15th International Symposium on Econometric Theory and Applications (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoto Shimokado
2. 発表標題 Sustainable rural development and AMUL 's food business
3. 学会等名 13th Indo-Japanese Dialogue on " Indian Economic Development " at Punjab Agricultural University, Ludhiana (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 インド西ベンガル州コルカタの縫製産業 2018年11月予備調査からの考察
3. 学会等名 RIEBセミナー(科研基盤研究(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点(TINDAS)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 「持続可能な生産と女性の人権 南アジア（バングラデシュ、インド）の縫製労働者の事例から」
3. 学会等名 日本比較経営学会第44回全国大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 「持続可能な衣服の生産と消費を考える 南アジア（バングラデシュとインド）の事例から」
3. 学会等名 一般社団法人日本繊維機械学会・繊維リサイクル技術研究会第135回情報交換会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hanako Nagata
2. 発表標題 The Production Subcontracting System of Major Underwear Brands and the Home-Based Workers: The Case of West Bengal, India
3. 学会等名 RIEBセミナー（科研基盤研究（A）「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点（TINDAS）共催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川中薫
2. 発表標題 インド・デリーにおける縫製工の移動型熟練形成
3. 学会等名 兼松セミナー（南アジア地域研究京都大学拠点（KINDAS）、南アジア地域研究広島大学拠点（HINDAS）、南アジア地域研究東京大学拠点（TINDAS）共催）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shuji Uchikawa
2. 発表標題 Weak Nexus Between Organised and Unorganised Sectors within India's Manufacturing Industry
3. 学会等名 RIEBセミナー(科研基盤研究(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点(TINDAS)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Atsuyuki Kato
2. 発表標題 Trade Wars between ASEAN, China and India
3. 学会等名 RIEBセミナー(科研基盤研究(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点(TINDAS)共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 加藤篤行
2. 発表標題 Exchange Rates and Intra-Firm Trade
3. 学会等名 インドと国際化する日本企業に関する研究会(日本南アジア学会九州部会・東京大学現代南アジア研究拠点(TINDAS)・基盤研究(A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Atsuyuki Kato
2. 発表標題 Location Strategies of Japanese Multinationals: Evidence from Asia
3. 学会等名 3rd International Conference on Advanced Research in Economics, Social Sciences & Trade and Development(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安保哲夫、銭佑錫
2. 発表標題 インド日系ハイブリッド工場の戦略問題 - 生産システム移転と製品選択の適用と適応 -
3. 学会等名 インドと国際化する日本企業に関する研究会 (日本南アジア学会九州部会・東京大学現代南アジア研究拠点 (TINDAS)・基盤研究 (A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tetsuo Abo, Wooseok Juhn
2. 発表標題 Japanese Hybrid Factories in Developing Regions: A Comparison with Other Factories Worldwide
3. 学会等名 International Conference at National University of Mongolia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上池あつ子
2. 発表標題 インド製菓企業のオープンイノベーション戦略
3. 学会等名 インドと国際化する日本企業に関する研究会 (日本南アジア学会九州部会・東京大学現代南アジア研究拠点 (TINDAS)・基盤研究 (A)「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」共催)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 新興綿紡績産地の形成 アーンドラ・プラデーシュ州を事例に
3. 学会等名 2019年度HINDAS (広島大学現代インド研究センター) 第2回 研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川中薫
2. 発表標題 インド・デリーにおける縫製工の移動型熟練形成
3. 学会等名 兼松セミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaoru Kawanaka
2. 発表標題 The Relation between Local Technology Formation and Mobility Patterns of Migrant Tailors : in the Apparel Export Industry of Delhi
3. 学会等名 13th Indo-Japanese Dialogue on " Indian Economic Development " at Punjab Agricultural University, Ludhiana (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kaoru Kawanaka
2. 発表標題 Introduction to Professional and Vocational University in Japan: a case of PIIF
3. 学会等名 日豪高等教育フォーラム (PIIF、TAFE) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川中薫
2. 発表標題 高等教育における実務教育と人材育成 : 新たな教育制度における専門職大学の例
3. 学会等名 産学連携学会 中小企業ニーズ発掘サロン
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 インド経済論と地域（地方）・社会研究の接点 かなり限られたレビューから
3. 学会等名 九州南アジア研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 インドの経済発展、企業および地域などについて：工業化論は意義を失ったか？
3. 学会等名 RIEBセミナー（科研基盤研究（A）「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」/南アジア地域研究東京大学拠点（TINDAS）共催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安保哲夫
2. 発表標題 インド自動車産業の発展における日系企業の役割 - そのハイブリッド工場の国際比較 -
3. 学会等名 早稲田大学自動車部品産業研究所
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野正樹
2. 発表標題 新興国戦略の転換：戦略タイプ別市場成果の測定
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第25回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野正樹
2. 発表標題 価格・品質ポジショニングマップによる新興国市場分析：インドのエアコン市場の分析
3. 学会等名 アジア経営学会第25回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 現代アジアの産業発展と地理学の視点 - 東南アジア，インド研究の最前線から -
3. 学会等名 愛媛地理学会創立50周年記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 コインバトール地域の紡績工業からみた南インド繊維産業の流通構造と労働市場
3. 学会等名 2018年度広島大学現代インド研究センター第3回研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 変容する現代インドのものづくり：繊維・縫製産地の発展と人々の生活
3. 学会等名 金沢大学サテライト・プラザ ミニ講演（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuji Uchikawa
2. 発表標題 Migration and Labor Market in India
3. 学会等名 The 10th INDAS-South Asia International Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hideki Esho
2. 発表標題 Modinomics and the Performance of Indian Economy
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤篤行
2. 発表標題 Exchange Rates and Intra-Firm Trade
3. 学会等名 国際経済学会関東部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤篤史
2. 発表標題 Indsutrialization Policy by Indian State Governments: A Political Economy Explanation
3. 学会等名 日本南アジア学会第 31 回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Atsuko Kamiike
2. 発表標題 The TRIPs Agreement and Pharmaceutical Industry in India?
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川中薫
2. 発表標題 ファッション産業における感性と情報
3. 学会等名 'Kansei' and Information in the Fashion industry, 第13回日本感性工学会春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田畑伸一郎・梶谷 懐・福味 敦
2. 発表標題 ユーラシア地域大国の中央・地方財政関係
3. 学会等名 比較経済体制学会第58回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤 隆広・福味 敦
2. 発表標題 ユーラシア地域大国の石油価格とマクロ経済 - 中国・インド・ロシアを事例として -
3. 学会等名 比較経済体制学会第58回全国大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福味敦
2. 発表標題 Electricity Consumption and Agricultural Development in Punjab
3. 学会等名 The 10th Indo-Japanese Dialogue on the Indian Socio-Economic Issues with Special Reference to the Japanese Perspectives (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤篤史・福味敦
2. 発表標題 インド州政府の産業政策：政治経済学的分析
3. 学会等名 日本南アジア学会第31回全国大会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福味 敦
2. 発表標題 Electricity Consumption and Agricultural Development in Punjab
3. 学会等名 日本国際経済学会第77回全国大会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hanako Nagata
2. 発表標題 Bangladeshi Ready-Made Garment Industry and Female Workers: Overview from the birth of the industry and the Rana Plaza Disaster
3. 学会等名 the British Academy workshop, in the three year IPM programme on Inclusive, Smart and Sustainable Cities (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hanako Nagata
2. 発表標題 Bangladeshi Ready-Made Garment Industry: Female Workers' Skill, Wage and Household/ Household -The case of a Japanese multinational company's international transfe
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古田学、藤森梓、佐藤隆広
2. 発表標題 海外直接投資とインド製造業の技術革新：前方連関を通じたスピル・オーバー効果の検証
3. 学会等名 日本国際経済学会第8回春季大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Manabu Furuta, Prabir Bhattacharya, Takahiro Sato
2. 発表標題 Effects of Trade Liberalization on the Gender Wage Gap: Evidences from Panel Data of the Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古田学、藤森梓、佐藤隆広
2. 発表標題 外国直接投資とインド製造業の生産性：外国直接投資のスピルオーバー効果の再検討
3. 学会等名 産業研究所平成30年度第1回研究報告会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Nishiyama, Manabu Furuta, Yasuyuki Sugiyama
2. 発表標題 Effects of Emission Standards: Evidence from Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 The 10th Indo-Japanese Dialogue on the Indian Socio-Economic Issues with Special Reference to the Japanese Perspectives (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroyuki Nishiyama, Manabu Furuta, Yasuyuki Sugiyama
2. 発表標題 Effects of Emission Standards: Evidence from Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 日本国際経済学会 第77回全国大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Manabu Furuta, Prabir Bhattacharya, Takahiro Sato
2. 発表標題 Effects of Trade Liberalization on the Gender Wage Gap: Evidences from Panel Data of the Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 Seminar at IIT Bombay, IIT Bombay (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Manabu Furuta, Takahiro Sato, Keiji Otsuka
2. 発表標題 FDI and the Automotive Sector in India
3. 学会等名 RIEBセミナー The 12th Indo-Japanese Dialogue at the Japan Foundation New Delhi (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Azusa Fujimori, Hiroyuki Nishiyama, Takahiro Sato
2. 発表標題 Firm Heterogeneity and the Behavior of Japanese Multinationals in India
3. 学会等名 European Association for Comparative Economics 15th Biannual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kohei Mishima
2. 発表標題 The Source of Competitive Advantage of Indian Motorcycle Industry?
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 モディ政権下のインド経済
3. 学会等名 日本南アジア学会30周年記念シンポジウム「ナレンドラ・モディ政権下のインド」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 FDI and Productivity Spillovers in the Indian Manufacturing?
3. 学会等名 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インドの経済発展と自動車産業の将来
3. 学会等名 講演会:早稲田大学 自動車・部品産業研究所/WIAPS 「経済発展の政治経済学」部会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド経済とモディ政権の行方
3. 学会等名 開発協力ひろば(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 FDI and Productivity Spillovers in the Indian Manufacturing Industries
3. 学会等名 The 10th Indo-Japanese Dialogue on the Indian Socio-Economic Issues with Special Reference to the Japanese Perspectives (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 インド経済とモディ政権の行方
3. 学会等名 在コルカタ日本国総領事館 経済勉強会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Economic Relations between India and Japan
3. 学会等名 Seminar at Indian Institute of Technology Patna (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Japan's Investment in India: With Special Reference to Bihar
3. 学会等名 Seminar Jointly Organised by Bihar Industries Association (BIA), Patna and Confederation of Indian Industry(CII) Bihar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Effects of Trade Liberalization on the Gender Wage Gap: Evidences from Panel Data of the Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 The Indian Society of Labour Economics 60th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 ユーラシア地域大国における石油価格とマクロ経済：中国・インド・ロシアを事例として
3. 学会等名 神戸国際経済研究会研究会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Economic Diversification of the Agricultural Households in India
3. 学会等名 RIEBセミナー The 12th Indo-Japanese Dialogue at the Japan Foundation New Delhi (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 Economic Diversification of the Agricultural Households in India
3. 学会等名 兼松セミナー-The Indo-Japanese Dialogue on the Issues of the Indian Economic Growth (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 Estimating Regional Returns to Education in India: A Fresh Look with Pseudo-Panel Data
3. 学会等名 地域研究機構南アジア研究センター設立記念シンポジウム「南アジアの社会経済発展の基盤-教育・市場・国家」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三嶋恒平
2. 発表標題 インド製造業の競争優位を探る オートバイ産業の国際比較分析
3. 学会等名 アジア経営学会東部部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鎌田伊佐生
2. 発表標題 The Internationalization of Firms and Management Practices: A Survey of Firms in Vietnam
3. 学会等名 国際経済学会第7回春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kohei Mishima
2. 発表標題 The Source of Competitive Advantage of Indian Motorcycle Industry
3. 学会等名 25th International Colloquium of Gerpisa (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Atsushi Fukumi
2. 発表標題 Energy Consumption and Economic Growth in India
3. 学会等名 the Second World Congress of Comparative Economics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 India in the World Economy: Inferences from Empirics of Economic Growth
3. 学会等名 the Second World Congress of Comparative Economics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上池あつ子
2. 発表標題 模倣と革新のインド製薬産業史
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤森梓
2. 発表標題 Firm Heterogeneity and the Behaviour of Japanese Manufacturing Multinationals in India
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 経済統計からみたインド進出日系企業
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会春季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hanako NAGATA
2. 発表標題 Economic Growth, Industrialization and Gender in Bangladesh
3. 学会等名 26th International Association for Feminist Economics Annual Conference
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川中薫
2. 発表標題 デリー・アパレル産業における縫製工ネットワークと技術形成
3. 学会等名 RIEBセミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 インドが直面する産業発展の課題：日印経済交流拡大を展望して
3. 学会等名 科研費基盤A「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」キックオフシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 絵所秀紀
2. 発表標題 独立後インド産業発展の特徴
3. 学会等名 科研費基盤A「南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク」キックオフシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroyuki Nishiyama
2. 発表標題 Emission, trade liberalization, and heterogeneity
3. 学会等名 Workshop on trade and/or environment (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西山博幸
2. 発表標題 Globalization trap?: Trade and labor market interactions revisited
3. 学会等名 グローバル化の下での地域経済のあり方を考える研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 インドにおける邦銀の業務展開
3. 学会等名 日本金融学会2017年度秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takahiro Sato
2. 発表標題 India in the World Economy
3. 学会等名 日本国際経済学会 第76回全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 インドにおける日系企業の空間的特性-大都市圏集中と地方立地-
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤篤行
2. 発表標題 The Impact of FTAs on Procurement Behavior of Japanese Firms' Overseas Affiliates
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 絵所秀紀
2. 発表標題 国際価値連鎖からみたインドのタイヤ産業
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 震災以降の東北縫製産業における女性の就労とエンパワメント 岩手県北地域を事例に
3. 学会等名 第二回東アジア日本研究者協議会国際学術大会（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上野正樹
2. 発表標題 新興国市場における「憧れ価値」と「適応価値」：インド消費者へのアンケート調査をもとに
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会第24回全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Manabu Furuta, Prabir Battacharya, Takahiro Sato
2. 発表標題 Effects of Trade Liberalization on Gender Wage Gap: Evidences from Panel Data of the Indian Manufacturing Sector
3. 学会等名 日本経済政策学会第7回国際会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石上悦朗
2. 発表標題 ICTサービス産業のダイナミズムとグローバル化
3. 学会等名 地理科学学会秋季シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Atsushi Kato
2. 発表標題 Violent Conflicts and the Economic Performance of Manufacturing Sector: Indian Regional State Level Analysis
3. 学会等名 2017International Symposium on Development Cooperation and Evaluation (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鋤塚賢太郎
2. 発表標題 現代インドの空間構造と都市集積 衛星データと国勢調査を用いた検討
3. 学会等名 兼松セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇根義己
2. 発表標題 インド日系企業の立地分析-GISの活用手法と分析結果-
3. 学会等名 兼松セミナー
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鎌田伊佐生
2. 発表標題 The Internationalization of Firms and Management Practices: A Survey of Firms in Vietnam
3. 学会等名 UNP International Workshop on Contemporary Issues of International Trade
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤篤行
2. 発表標題 南アジアの経済発展と新貿易理論(1)
3. 学会等名 「南アジア経済発展の理論・実証的アプローチに関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤隆広
2. 発表標題 南アジアの経済発展と新貿易理論(2)
3. 学会等名 「南アジア経済発展の理論・実証的アプローチに関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西山博幸
2. 発表標題 南アジアの経済発展と新貿易理論(3)
3. 学会等名 「南アジア経済発展の理論・実証的アプローチに関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鎌田伊佐生
2. 発表標題 南アジアの経済発展と新貿易理論(4)
3. 学会等名 「南アジア経済発展の理論・実証的アプローチに関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤森梓
2. 発表標題 南アジアの経済発展と新貿易理論(5)
3. 学会等名 「南アジア経済発展の理論・実証的アプローチに関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古田学
2. 発表標題 南アジアの経済発展と新貿易理論(6)
3. 学会等名 「南アジア経済発展の理論・実証的アプローチに関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安保哲夫
2. 発表標題 インドにおける日本型ハイブリッド工場の国際比較 - 比較ケーススタディから：インドとハンガリーのスズキ、インドと南アの関西ペイント、インドのマイヒンドラと南アのBMW
3. 学会等名 RIEBセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hideki Esho
2. 発表標題 Indian Tire Industry in Global Value Chain
3. 学会等名 ICES 2018 International Conference
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安保哲夫
2. 発表標題 関西ペイント・南アフリカ(Kansai Plascon : KPAL) - 意図せざる「日本式」の移入? -
3. 学会等名 日本多国籍企業研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西尾圭一郎
2. 発表標題 独立後のインドの金融発展
3. 学会等名 アジア長期経済統計インド・南アジア巻研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長田華子
2. 発表標題 南アジアにおける縫製産業と女性労働力
3. 学会等名 基盤研究(A)・TINDAS共催研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古田学
2. 発表標題 外国直接投資とインド製造業の生産性
3. 学会等名 基盤研究(A)・TINDAS共催研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野正樹
2. 発表標題 インドの消費者と日系企業の新興国戦略：エアコン購入に関するアンケート調査
3. 学会等名 基盤研究(A)・TINDAS共催研究会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計30件

1. 著者名 日本貿易振興機構（ジェトロ）（編著）田辺明生、近藤則夫、絵所秀紀、伊豆山真理、山田剛、椎野幸平、佐藤隆広、上野正樹、小川英樹、広木拓、酒井惇史、堀井崇志、繁田奈歩、小池淳介、夏見祐奈、村橋靖之、佐藤創、太田仁志、藤田幸一、木曾順子（著）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本貿易振興機構（ジェトロ）	5. 総ページ数 243
3. 書名 ジェトロ編『徹底解説！これからのインドビジネス：政治・経済・社会・ビジネス環境』	

1. 著者名 Tsukasa Mizushima, Takashi Kurosaki, Haruka Yanagisawa, Yoshifumi Usami, Vikas Rawal, Hideki Esho, Atsushi Fukumi, Takahiro Sato	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 258
3. 書名 The Rural-Urban Nexus in India's Economic Transformation	

1. 著者名 Kazuo Tomozawam, Kentaro Kuwatsuka, Shuji Uchikawa	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 362
3. 書名 Inclusive Development in South Asia	

1. 著者名 Shujiro Urata, Atsushi Kato, Yuko Shimazaki, Yukimi Shimoda, Jie Liu	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 187
3. 書名 Sustainable Development Disciplines for Humanity	

1. 著者名 小磯千尋、小松久恵、上池あつ子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 200
3. 書名 インド文化読本	

1. 著者名 佐藤隆広、上野正樹（編著）、石上悦朗、内川秀二、宇根義己、絵所秀紀、上池あつ子、川中薫、鍬塚賢太郎、下門直人、長田華子、西尾圭一郎、福味敦、古田学、三嶋恒平、ほか著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 白桃書房	5. 総ページ数 436
3. 書名 図解インド経済大全	

1. 著者名 荒井紀子、高木幸子、石島恵美子、鈴木真由子、小高さほみ、平田京子（編著）、安藤哲也、井元りえ、都崎博子、大野覚、柳川奈奈、長田華子、永井敏美、大嶋佳子、山崎陽江、櫛府暢子、上村幸、高橋みゆき、永井三岐子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 教育図書	5. 総ページ数 159
3. 書名 SDGsと家庭科カリキュラム・デザイン	

1. 著者名 浅田進史、榎一江、竹田泉（編著）、長田華子、ほか著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 276
3. 書名 グローバル経済史にジェンダー視点を接続する	

1. 著者名 石坂晋哉、宇根義己、舟橋健太（編著）、小嶋常喜、井田克征、井上春緒、小松久恵、上田知亮、板倉和裕、和田一哉、古田学、福味敦、中條暁仁、松尾瑞穂、竹村嘉晃、茶谷智之、中村沙絵、山本達也、飯田玲子、橋健一、木村真希子、志賀美和子、須永恵美子、鈴木真弥	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 290
3. 書名 ようこそ南アジア世界へ	

1. 著者名 伊藤達也、小田宏信、加藤幸治（編著）、中澤高志、池田真志、水野真彦、小原文明、山本俊一郎、宇根義己、加藤幸治、半澤誠司、佐々木達、土屋純、新名阿津子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 352
3. 書名 経済地理学への招待	

1. 著者名 鹿島正裕、倉田徹、古畑徹（編著）、加藤篤行、粕谷雄一、弁納才一、古泉達矢、山口善成、山本卓、石黒盛久、上田長生、清水邦彦、大江元貴、深澤のぞみ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風行社	5. 総ページ数 209
3. 書名 国際学への扉：異文化との共生に向けて（三訂版）	

1. 著者名 Hiromi Shioji, Dev Raj Adhikari, Naoto Shimokado, Others	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 340
3. 書名 Management for Sustainable and Inclusive Development in a Transforming Asia	

1. 著者名 Ashmita Gupta (Ed.), Atsushi Kato, Takahiro Sato, Others	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Primus Books	5. 総ページ数 276
3. 書名 Social Statistics: Manifestation Of Growth	

1. 著者名 Suresh Chand Aggarwal, Deb Kusum Das, Atsushi Kato, Atsushi Fukumi, Others	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 342
3. 書名 Accelerators of India's Growth - Industry, Trade and Employment	

1. 著者名 Shinishi Kusanagi, Takashi Yanagawa Eds., Teizo Anayama, Kenichiro Fukuda, Atsushi Fukumi, Satoshi Myojo, Munenori Nomura, Takuro Tanaka	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 143
3. 書名 Privatization of Public City Gas Utilities	

1. 著者名 Koichi Fujita, Tsukasa Mizushima, OTHERS eds., Parish Budhiraja, Atsushi Fukumi, Others	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 251
3. 書名 Sustainable Development in India Groundwater Irrigation, Energy Use, and Food Production	

1. 著者名 神谷和義、林恒宏（編著）、藤森梓、吉田綾、庄子博人、勝又晋、金谷英信、鈴木順、河野宏、岸卓巨、村田真一、植田真司、上田滋夢、田村匡、江原謙介	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学術研究出版	5. 総ページ数 282
3. 書名 スポーツSDGs概論	

1. 著者名 植田浩史、三嶋恒平（編著）、伊藤亜聖、的場竜一、田口直樹、田中幹大	4. 発行年 2021年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 448
3. 書名 中国の日系企業 蘇州と国際産業集積	

1. 著者名 佐藤史郎、石坂晋哉（編著）、宇根義己、その他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 521
3. 書名 現代アジアをつかむ：社会・経済・政治・文化 35のイシュー	

1. 著者名 稲田義久、猪木武徳、本多佑三、松林洋一、後藤健太、梶谷懐、土田陽介、藤原幸則、有馬純、木村福成、佐藤隆広、山本明日香、家森信善、下田充、入江啓彰、小川亮、高林喜久生、山下朗、Karavasilev Yani、郭秋薇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 アジア太平洋研究所	5. 総ページ数 303
3. 書名 アジア太平洋と関西 関西経済白書 2021	

1. 著者名 古田学、石坂晋哉、宇根義己、舟橋健太	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 296
3. 書名 ようこそ南アジア世界へ	

1. 著者名 Atsushi Fukumi、Suresh Chand Aggarwal、Deb Kusum Das、Rashmi Banga	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 342
3. 書名 Accelerators of India's Growth?Industry, Trade and Employment	

1. 著者名 Atsushi Kato、Takahiro Sato、Ashmita Gupta	4. 発行年 2020年
2. 出版社 PRIMUS BOOKS	5. 総ページ数 263
3. 書名 Social Statistics:Manifestation of Growth	

1. 著者名 伊藤達也、小田宏信、加藤幸治、宇根義己	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 370
3. 書名 経済地理学への招待	

1. 著者名 上池あつ子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 314
3. 書名 模倣と革新のインド製薬産業史ー後発国のグローバル・バリューチェーン戦略	

1. 著者名 公文溥、糸久正人、安保哲夫、郭四志、銭祐錫、宮地利彦、島田明男、苑志佳、兪成華、八才燕書	4. 発行年 2019年
2. 出版社 時潮社	5. 総ページ数 386
3. 書名 アフリカの日本企業 - 日本的経営生産システムの移転可能性 -	

1. 著者名 長崎暢子、柳澤悠、井坂理穂、藤井毅、脇村孝平、粟屋利江、弘中和彦、中島岳志、近藤則夫、絵所秀紀、田辺明生、子島進、山根聡、佐藤宏、井上恭子、杉原薫、大石高志、伊豆山真理	4. 発行年 2019年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 632
3. 書名 世界歴史体系・南アジア史・近代・現代4	

1. 著者名 津崎克彦、恵羅さとみ、高畑幸、中島弘象、山口恵子、志甫啓、鈴木江理子、定松文、安藤光義、伊原亮司、郭潔蓉、長田華子、佐々木貴文、蘭信三、福本拓、駒井洋	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 304
3. 書名 産業構造の変化と外国人労働者	

1. 著者名 大塚啓二郎、會田 剛史、佐藤隆広、三嶋恒平、村上善道	4. 発行年 2018年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 73
3. 書名 技術移転と産業発展の長期的展開過程：インドとタイにおけるオートバイ産業と自動車産業の比較研究	

1. 著者名 掛下達郎・西尾圭一郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 松山総合研究所	5. 総ページ数 115
3. 書名 英米の大手銀行と日本の地方銀行 - 金融システム、業務展開、国際化 -	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>南アジアの産業発展と日系企業のグローバル生産ネットワーク https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/project/south-asia-gpn/index-j.html 神戸大学経済経営研究所 - 佐藤 隆広 http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/academic/ResearchStaff/sato-j.html</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	石上 悦朗 (Ishigami Etsuro) (00151358)	神戸大学・経済経営研究所・部局研究員 (14501)	
研究分担者	西山 博幸 (Nishiyama Hiroyuki) (00309345)	兵庫県立大学・国際商経学部・教授 (24506)	
研究分担者	絵所 秀紀 (Esho Hideki) (10061243)	法政大学・比較経済研究所・研究員 (32675)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 篤行 (Kato Atsuyuki) (10470064)	金沢大学・経済学経営学系・准教授 (13301)	
研究分担者	西尾 圭一郎 (Nishio Keiichiro) (20453368)	愛知教育大学・教育学部・准教授 (13902)	
研究分担者	長田 華子 (Nagata Hanako) (20632285)	茨城大学・人文社会科学部・准教授 (12101)	
研究分担者	宇根 義己 (Une Yoshimi) (40585056)	金沢大学・人間科学系・准教授 (13301)	
研究分担者	鎌田 伊佐生 (Kamata Isao) (40749503)	新潟県立大学・国際経済学部・教授 (23102)	
研究分担者	内川 秀二 (Uchikawa Shuji) (50257549)	専修大学・経済学部・教授 (32634)	
研究分担者	上野 正樹 (Ueno Masaki) (90379462)	南山大学・経営学部・准教授 (33917)	
研究分担者	安保 哲夫 (Abo Tetsuo) (90013028)	神戸大学・経済経営研究所・リサーチフェロー (14501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	上池 あつ子 (Kamiike Atsuko) (40570578)	神戸大学・経済経営研究所・学術研究員 (14501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 The Indo-Japanese Dialogue on the Issues of the Indian Economic Growth	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 12th Indo-Japanese Dialogue at the Japan Foundation New Delhi	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The 10th Indo-Japanese Dialogue on the Indian Socio-Economic Issues with Special Reference to the Japanese Perspectives	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 Edinburgh-Kobe Dialogue on the Economic Development in South Asia	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関